みんなで考えるまちづくり

Vol.6 産業振興

今年度と来年度の2年をかけて、次期総合計画の策定作業に取り組みます。策定にあたり、市民の皆さんから分野ごとに意見を広く募集します。第6回目の今月は「産業振興」です。

現総合計画での取り組み

市には、農業、漁業、商業、観光業、工業といった産業があります。現総合計画では、「地域産業を支え、育むまち」「福津ブランドを生み育て、発信するまち」を目標に掲げ、市内の事業所等と協力しながらさまざまな事業を展開してきました。その一部を紹介します。

○農・水産業の振興

福津市は福岡・北九州という大規模な消費地が近くにあり立地が良く、また、豊かな自然環境が維持されています。このような条件を生かし、市の農業、漁業を展開していくことが求められています。市内の農業は家族経営など小規模経営が主であるため、経営体質が強固でないこと、担い手不足や高齢化により農家が減少していることなどが課題でした。これらの解決に向け、生産性の向上につながる施設等の購入補助を行い、農家の経営安定を図っています。また、県北筑前普及指導センター、むなかた地域農業活性化機構と共に、他業種からの新規就農者の支援に取り組んでいます。

▲上西郷の新規就農者のブロッコリー畑

○事業所への支援策

市商工会会員事業所の経営の安定と発展を目的に、金融、税務、労務等の経営支援や、販路拡大の支援をしてきました。また、市内中小企業支援策として、融資制度・保証料補助制度等を実施しています。

このほか、市内の消費を促進することを目的に、プレミアム付き商品券の発行を行っています。

○各種イベントの開催

市と市内の観光・商工関係者で「福津市地域産業活性化協議会」を平成22年に設立しました。毎年5～6月に「ふくつの鯛茶づけフェア」を開催するなどイベントによる集客を図り、観光客の増加に取り組んでいます。

▶昨年のふくつの鯛茶づけフェアのパンフレット

○福津ブランドの開発

市商工会の呼びかけで、高い品質を誇る生鮮品や加工品、工芸品を「福津の極み」として認定する制度を創設し、認定品の販路拡大や情報発信を推進しています。

○イロイロお届け便の開始

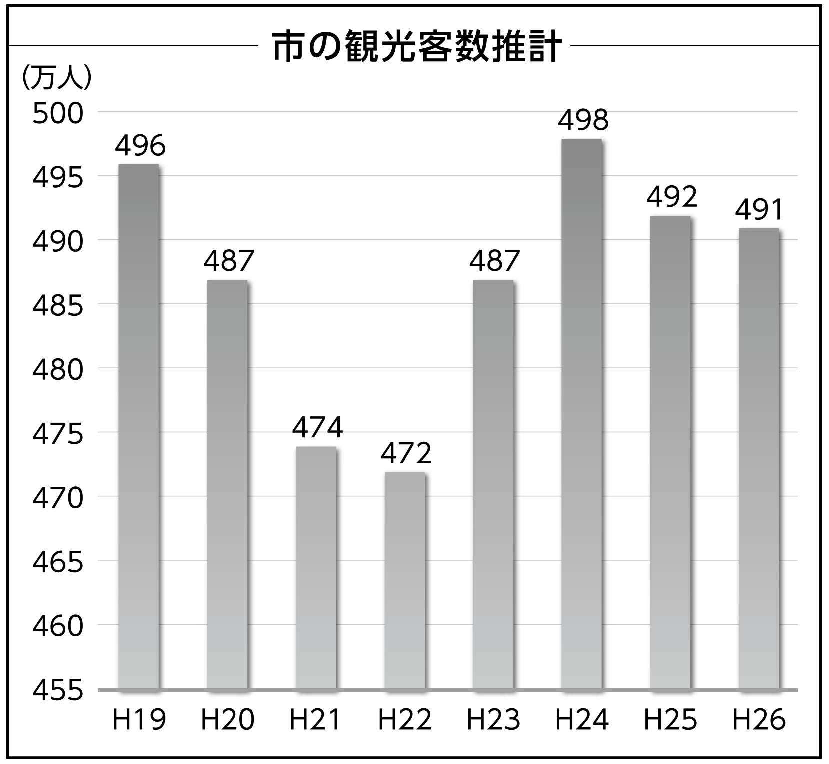
市商工会、福間駅前商店会、市シルバー人材センターとの共働で、加盟店の商品を電話注文できる宅配サービス「イロイロお届け便」を始めました。

▲「福津の極み」認定の工芸品の一つ、津屋崎人形

地産地消の促進に向けた産品流通の課題

市の農産物のうち、特に生産量が多いのはキャベツやカリフラワーといった露地野菜です。また、市内には津屋崎漁港と福間漁港の2つの漁港があり、津屋崎漁港はマダイの水揚げ量が多いのが特徴です。

この農産物や水産物の出荷先は、卸売市場の割合が高く、一般のかたが購入できる場所としては「あんずの里ふれあいの館」「ふれあい広場ふくま」「お魚センターうみがめ」の3か所の産地直売所があります。市で生産された新鮮な産品を、市民の皆さんが口にする機会が増えることが望まれていますが、今後、農・漁業者の高齢化などに伴う出荷量の減少が見込まれます。地産地消の促進に向け、農水産物の商品をいかに確保するかが課題です。



福津市を訪れる観光客数の推移

上のグラフは、市を訪れた観光客数推計を示したものです。

市を訪れる観光客の多くは宮地嶽神社の参拝客ですが、参拝客については平成19年は西鉄宮地岳線廃線の影響で減少しているとみられます。それ以外の年についても三が日や夏季の悪天候の年は減少がみられるなど、天候などの影響を受けながら増減を繰り返している状況です。

御意見をお寄せください

「産業振興」に関する取り組みについて、御意見を募集します。いただいた御意見は、今後の計画作りに生かしていきます。御意見は下のはがきに記入してお寄せください。皆さんの御協力をよろしくお願いします。

問い合わせ 市行政経営企画課 ☎43・8121

きりとり

産業振興に関する御意見をお寄せください

点線に沿って切り取り、**3月15日(水)**までに投函してください。切手は不要です。

きりとり

料金受取人払郵便
福間局承認
7
差出有効期間
平成29年4月30日まで
(切手不要)

郵便はがき
811-3290
(受取人)
福津市中央1丁目1番1号
福津市役所
行政経営企画課
行